

事務事業評価シート

(H.30)No.	3038	(H.29)No.	3038
-----------	------	-----------	------

事務事業名	開業医救急車受入支援補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

会計区分	事業コード	250506
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	開業医救急車受入支援補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	3	地域医療
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
開業医療機関における救急搬送患者の受入体制を充実させることにより、安定的な救急医療体制を確保するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。		
事業内容		
本市の救急医療に対応するため、名賀医師会に所属する開業医療機関に対して、名張市消防本部の救急車で搬送される患者の受入れについて協力をお願いするとともに、その受入れに対する支援を行うことにより、救急医療体制の補完および充実を図る。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	実績額 1,165,000円 【内訳】 1. 10,000円×60件=600,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで 2. 5,000円×113件=565,000円 上記(1)、(2)以外のとき	予算額 2,000,000円 【内訳】 1. 10,000円×135件=1,350,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで 2. 5,000円×130件=650,000円 上記(1)、(2)以外のとき	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			平成30年度と同様に実施予定	平成30年度と同様に実施予定	平成30年度と同様に実施予定

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		1,165千円		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	1,165	0	2,000	2,000	2,000
人工数	職員		0.17人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	1,258千円	0千円	1,184千円	1,184千円	1,184千円	1,184千円
①+②総事業費	0千円	2,423千円	0千円	3,184千円	3,184千円	3,184千円	3,184千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
救急車を利用する軽症患者を開業医療機関が受け入れ、重症(二次救急)患者を輪番体制により実施している二次医療機関が受け入れることにより、一次医療・二次医療の役割分担の充実が図れた。また、救急車の適正利用については引き続き啓発していく必要がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
かかりつけ医をもって、早めの受診に努めることや、救急車の適正利用を呼びかける広報掲載、出前トークなど啓発事業に取り組む。救急医療体制を円滑に実施するためには、効果的な事業であるため、現行どおり継続する。

6. 事務事業の取組に関する市の計画